

業種別死傷災害発生状況 (令和8年7月末)

鹿児島労働局

業種	年	令和8年		令和7年		対前年			
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	増減数		増減率	
						死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		1,120	7	1,048	5	72	2	6.9%	40.0%
1 製造業		223	1	218	1	5		2.3%	
1 食料品製造業		123		135		-12		-8.9%	
4 木材・木製品製造業		13		9	1	4	-1	44.4%	-100.0%
9 窯業土石製品製造業		7		9		-2		-22.2%	
11～12 金属製品製造業		17		11		6		54.5%	
13～15 機械機具製造業		22		19		3		15.8%	
上記以外の製造業		41	1	35		6	1	17.1%	
2 鉱業		2		5		-3		-60.0%	
3 建設業		137	3	145		-8	3	-5.5%	
1 土木工事業		60	2	47		13	2	27.7%	
2 建築工事業		61	1	69		-8	1	-11.6%	
3 その他の建設業		16		29		-13		-44.8%	
4 運輸交通業		109	2	110		-1	2	-0.9%	
1 鉄道・航空機業		2		1		1		100.0%	
2 道路旅客運送業		9		10		-1		-10.0%	
3 道路貨物運送業		98	2	99		-1	2	-1.0%	
4 その他の運輸交通業									
5 貨物取扱業		16		8		8		100.0%	
1 陸上貨物取扱業		6				6			
2 港湾運送業		10		8		2		25.0%	
6 農林業		54	1	57	2	-3	-1	-5.3%	-50.0%
1 農業		36		31	1	5	-1	16.1%	-100.0%
2 林業		18	1	26	1	-8		-30.8%	
7 畜産・水産業		61		36		25		69.4%	
8 商業		156		146	1	10	-1	6.8%	-100.0%
1 卸売業		27		24		3		12.5%	
2 小売業		114		110	1	4	-1	3.6%	-100.0%
3 理美容業				3		-3		-100.0%	
4 その他の商業		15		9		6		66.7%	
9 金融・広告業		8		6		2		33.3%	
11 通信業		12		14		-2		-14.3%	
12 教育・研究業		13		8		5		62.5%	
13 保健衛生業		186		174		12		6.9%	
1 医療保健業		64		78		-14		-17.9%	
2 社会福祉施設		117		93		24		25.8%	
3 その他の保健衛生業		5		3		2		66.7%	
14 接客娯楽業		66		55		11		20.0%	
1 旅館業		23		11		12		109.1%	
2 飲食店		29		29					
3 その他の接客娯楽業		14		15		-1		-6.7%	
上記以外の事業		77		66	1	11	-1	16.7%	-100.0%
10 映画・演劇業									
15 清掃・と畜業		48		37	1	11	-1	29.7%	-100.0%
16 官公署		1				1			
17 その他の事業		28		29		-1		-3.4%	
陸上貨物運送事業（４－３・５－１）		104	2	99		5	2	5.1%	
第三次産業（８～17）		518		469	2	49	-2	10.4%	-100.0%

- ① 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が４日以上の災害によるもので、死亡者を含みます。
- ② 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
- ③ 下段の陸上貨物運送事業（４－３・５－１）及び第三次産業（８～17）は、別計。
- ④ 死傷者数、死亡者数ともに新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況
(令和8年7月末)

鹿児島労働局

事故の型別									年齢別						
業種	順位	令和8年	人数	割合	順位	令和7年	人数	割合		令和8年		令和7年		増減数	
										人数	割合	人数	割合		人数
全産業	1	転倒	268	23.9%	1	転倒	304	29.0%	～19歳	23	2.1%	20	1.9%	3	
	2	動作の反動・無理な動作	201	17.9%	2	墜落・転落	193	18.4%	20歳～29歳	149	13.3%	119	11.4%	30	
	3	墜落・転落	182	16.3%	3	動作の反動・無理な動作	158	15.1%	30歳～39歳	124	11.1%	111	10.6%	13	
	4	はさまれ・巻き込まれ	130	11.6%	4	はさまれ・巻き込まれ	100	9.5%	40歳～49歳	166	14.8%	180	17.2%	-14	
	5	切れ・こすれ	66	5.9%	5	切れ・こすれ	72	6.9%	50歳～59歳	285	25.4%	254	24.2%	31	
									60歳～	373	33.3%	364	34.7%	9	
製造業	1	はさまれ・巻き込まれ	53	23.8%	1	転倒	62	28.4%	～19歳	4	1.8%	7	3.2%	-3	
	2	転倒	36	16.1%	2	はさまれ・巻き込まれ	39	17.9%	20歳～29歳	30	13.5%	26	11.9%	4	
	3	動作の反動・無理な動作	34	15.2%	3	切れ・こすれ	29	13.3%	30歳～39歳	32	14.3%	31	14.2%	1	
	4	墜落・転落	26	11.7%	4	墜落・転落	28	12.8%	40歳～49歳	43	19.3%	40	18.3%	3	
	5	切れ・こすれ	23	10.3%	5	動作の反動・無理な動作	21	9.6%	50歳～59歳	45	20.2%	52	23.9%	-7	
									60歳～	69	30.9%	62	28.4%	7	
建設業	1	墜落・転落	45	32.8%	1	墜落・転落	58	40.0%	～19歳	2	1.5%	4	2.8%	-2	
	2	はさまれ・巻き込まれ	21	15.3%	2	転倒	29	20.0%	20歳～29歳	20	14.6%	28	19.3%	-8	
	3	転倒	16	11.7%	3	はさまれ・巻き込まれ	12	8.3%	30歳～39歳	18	13.1%	14	9.7%	4	
	4	飛来・落下	12	8.8%	4	切れ・こすれ	9	6.2%	40歳～49歳	19	13.9%	22	15.2%	-3	
	5	動作の反動・無理な動作	11	8.0%	5	交通事故（道路）	9	6.2%	50歳～59歳	41	29.9%	21	14.5%	20	
									60歳～	37	27.0%	56	38.6%	-19	
陸上貨物 運送事業	1	墜落・転落	26	25.0%	1	墜落・転落	29	29.3%	～19歳						
	2	動作の反動・無理な動作	21	20.2%	2	転倒	17	17.2%	20歳～29歳	8	7.7%	6	6.1%	2	
	3	転倒	16	15.4%	3	動作の反動・無理な動作	15	15.2%	30歳～39歳	14	13.5%	10	10.1%	4	
	4	はさまれ・巻き込まれ	9	8.7%	4	激突され	11	11.1%	40歳～49歳	16	15.4%	22	22.2%	-6	
	5	崩壊・倒壊	8	7.7%	5	はさまれ・巻き込まれ	7	7.1%	50歳～59歳	35	33.7%	29	29.3%	6	
									60歳～	31	29.8%	32	32.3%	-1	
林業	1	激突され	5	27.8%	1	激突され	7	26.9%	～19歳			1	3.8%	-1	
	2	飛来・落下	4	22.2%	2	はさまれ・巻き込まれ	5	19.2%	20歳～29歳	3	16.7%	4	15.4%	-1	
	3	墜落・転落	2	11.1%	3	切れ・こすれ	5	19.2%	30歳～39歳	4	22.2%	6	23.1%	-2	
	4	はさまれ・巻き込まれ	2	11.1%	4	飛来・落下	4	15.4%	40歳～49歳	2	11.1%	6	23.1%	-4	
	5	転倒	1	5.6%	5	墜落・転落	3	11.5%	50歳～59歳	3	16.7%	5	19.2%	-2	
									60歳～	6	33.3%	4	15.4%	2	
第三次 産業	1	転倒	176	34.0%	1	転倒	186	39.7%	～19歳	15	2.9%	5	1.1%	10	
	2	動作の反動・無理な動作	117	22.6%	2	動作の反動・無理な動作	107	22.8%	20歳～29歳	56	10.8%	38	8.1%	18	
	3	墜落・転落	69	13.3%	3	墜落・転落	58	12.4%	30歳～39歳	43	8.3%	38	8.1%	5	
	4	交通事故（道路）	36	6.9%	4	交通事故（道路）	27	5.8%	40歳～49歳	78	15.1%	77	16.4%	1	
	5	はさまれ・巻き込まれ	26	5.0%	5	はさまれ・巻き込まれ	20	4.3%	50歳～59歳	133	25.7%	129	27.5%	4	
									60歳～	193	37.3%	182	38.8%	11	
	小売 業	1	転倒	53	46.5%	1	転倒	46	41.8%	～19歳	3	2.6%	1	0.9%	2
		2	動作の反動・無理な動作	19	16.7%	2	動作の反動・無理な動作	18	16.4%	20歳～29歳	9	7.9%	10	9.1%	-1
		3	墜落・転落	14	12.3%	3	墜落・転落	16	14.5%	30歳～39歳	12	10.5%	8	7.3%	4
		4	交通事故（道路）	11	9.6%	4	交通事故（道路）	7	6.4%	40歳～49歳	4	3.5%	16	14.5%	-12
		5	はさまれ・巻き込まれ	5	4.4%	5	飛来・落下	6	5.5%	50歳～59歳	24	21.1%	36	32.7%	-12
										60歳～	62	54.4%	39	35.5%	23
	社会 福祉 施設	1	転倒	46	39.3%	1	転倒	42	45.2%	～19歳	1	0.9%			1
		2	動作の反動・無理な動作	38	32.5%	2	動作の反動・無理な動作	31	33.3%	20歳～29歳	11	9.4%	3	3.2%	8
		3	その他	10	8.5%	3	墜落・転落	6	6.5%	30歳～39歳	4	3.4%	6	6.5%	-2
		4	切れ・こすれ	7	6.0%	4	激突	4	4.3%	40歳～49歳	20	17.1%	14	15.1%	6
		5	墜落・転落	4	3.4%	5	交通事故（道路）	4	4.3%	50歳～59歳	39	33.3%	28	30.1%	11
										60歳～	42	35.9%	42	45.2%	
	飲食 店	1	転倒	8	27.6%	1	転倒	14	48.3%	～19歳	4	13.8%	2	6.9%	2
		2	切れ・こすれ	7	24.1%	2	切れ・こすれ	7	24.1%	20歳～29歳	5	17.2%	4	13.8%	1
		3	高温・低温の物との接触	5	17.2%	3	墜落・転落	3	10.3%	30歳～39歳	4	13.8%	3	10.3%	1
		4	飛来・落下	3	10.3%	4	動作の反動・無理な動作	2	6.9%	40歳～49歳	2	6.9%	2	6.9%	
		5	動作の反動・無理な動作	2	6.9%	5	飛来・落下	1	3.4%	50歳～59歳	8	27.6%	10	34.5%	-2
										60歳～	6	20.7%	8	27.6%	-2

※事故の型別について・・・上位5位までの型のみを表示しています。

※新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

令和8年 死亡災害事例(令和8年7月末日現在)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業 種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和8年 2 月	木材伐出業	作業者	男	78	2年	崩壊、倒壊	立木等	被災者は、傾斜地に自生する広葉樹、竹、杉等をチェーンソーで伐採する作業を行っていたが、チェーンソーの音がしないことに気付いた同僚が様子を見に行ったところ、被災者がうつ伏せの状態で長さ約20メートル、胸高直径約25センチの椎の木の敷きになっていたもの。
2	令和8年 2 月	土木工事業	作業者	男	52	12年	崩壊、倒壊	地山、岩石	水道管の敷設作業中、労働者3名で土止め支保工の準備をしていたところ、深さ約2. 5メートルの掘削箇所に立ち入っていた被災者が地山の崩壊に巻き込まれ生き埋めとなったもの。
3	令和8年 3 月	建築工事業	作業者	男	48	28年	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	木造平屋建て住宅の屋根及び外壁塗装工事現場において、外周足場の組立て補助、飛散防止用シートの取付け等の業務に従事していた被災者が、高所から墜落したもの。
4	令和8年 4 月	一般貨物自動車運送業	運転者	男	65	40年	おぼれ	トラック	被災者は、トラクタ(トレーラーをけん引する車両)の運転手で、志布志漁港内を走行中に岸壁の縁石を乗り越えて車両ごと海に落ち、海上に浮いていたところを救助されたが、搬送先の病院で死亡が確認されたもの。
5	令和8年 5 月	土木工事業	運転者	男	75	40年	墜落、転落	不整地運搬車	令和7年8月に発生した豪雨により崩壊した農地の災害復旧工事現場において、不整地運搬車を運転して法面復旧用の土砂を運搬していた被災者が、不整地運搬車ごと道路から転落したもの。
6	令和8年 5 月	自動車整備業	作業者	男	77	50年	はさまれ、巻き込まれ	一般動力機械	自動車整備工場のブレーキの強さを計測する設備(コンビネーションテスター)を使用していた被災者が、軽トラックの右後輪とコンビネーションテスターに挟まれた状態で発見されたもの。
7	令和8年 6 月	特定貨物自動車運送業	運転者	男	58	5年	交通事故(道路)	トラック	被災者は、鶏を受け取りに養鶏場に向けてトラックを運転していたところ、カーブを抜けた直線上で対向してきたトラックの右側同士が衝突して負傷し、その後失血性ショックにより死亡したもの。